



# 桐生ロータリークラブ週報

2007年

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度 国際ロータリーのテーマ



## ROTARY SHARES

R.I 会長 ウィルフレッド J. ウィルキンソン

善意というものがいいなら  
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。  
職業は金儲けのためでしかなく、  
社会奉仕というも施しにすぎず、  
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原 勝樹

会長 佐々木 裕 幹事 森 末廣

クラブ会報・広報委員会 園田 誠・吉田 和夫・三橋 輝英・清沢 元喜

7月30日号

### 第2618回例会

(7月9日(月) 第2例会)

## \*歓迎\*

国際ロータリー第2840地区 横山公一ガバナー公式訪問

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 1. 点鐘         | 7. 委員会報告                     |
| 2. ロータリーソング齊唱 | 8. 卓話 「ガバナー講話」               |
| 3. 来訪者紹介      | 国際ロータリー第2840地区<br>ガバナー 横山公一様 |
| 4. 出席100%表彰   | 9. 点鐘                        |
| 5. 会長の時間      |                              |
| 6. 幹事報告       |                              |

### ようこそビジター

〈国際ロータリー第2840地区 ガバナー〉

横山公一様

〈群馬第2分区Aグループ ガバナー補佐〉

笠原康利様

〈副幹事〉

今井幸吉様

〈桐生第一高等学校インターラクトクラブ顧問〉

西尾仁美先生

〈米山奨学生〉ヤオ、クアディオ・ジェマエル君

### 出席100%表彰

金子篤郎君 18回  
前原正一君 16回  
本田雄一郎君 3回  
藤江篤君 2回  
森未廣君 1回



### 会長の時間

本日は横山公一ガバナーの公式訪問を心より歓迎申し上げます。横山ガバナーは沼田ロータリークラブの所属であり、1947年の生れで4月2日のお誕生日が来ていますので丁度満60才の還暦ガバナーであります。特技は武道に造詣が深く、剣道練士六段の猛者であります。細かいプロフィール等は講話を頂く前に改めて紹介があると思いますのでここでは

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM  
ホームページ <http://www.kiryu.co.jp/kiryurc/> メール [kiryu-rc@ktv.ne.jp](mailto:kiryu-rc@ktv.ne.jp)

除かせていただきます。

本年度ガバナーの地区の目標は「ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心」であります。この後、講話を頂く中でいろいろとご説明があろうかと思いますのでよろしくお願ひを申し上げます。本日はご遠方の処、大変ありがとうございます。どうぞよろしくご指導の程お願ひを申し上げます。

最後に余談ですが、私は今日誕生日であります、記念すべき公式訪問となり一忘れることのない例会であります。

- ・7月3日(火) 桐生赤城RC表敬訪問を致しました。プリオパレスにて森幹事と出席致しました。
- ・7月4日(水) 桐生南RC表敬訪問を致しました。セントセシリアにて森幹事と出席致しました。
- ・7月5日(木) 桐生中央RC表敬訪問を致しました。プリオパレスにて森幹事と出席致しました。
- ・7月6日(金) 桐生西RC表敬訪問を致しました。プリオパレスにて森幹事と出席致しました。

以上四つの友好クラブを表敬訪問をさせて頂きましたが、夫々のクラブで式次第が微妙に異なっています、会長が櫻掛をしていたり、四つのテストを歌ったり、式次第が終ってから食事であったり、いろいろと参考になり勉強になった四日間でした。

## 幹事報告

- RI第2840地区 直前ガバナー津久井義孝様より任期終了のお礼状が届いております。
- 桐生中央、桐生赤城の各RCよりクラブ現況報告書が届いております。
- 桐生市国際交流協会より桐生市の姉妹都市イタリアビエラ市から来桐する高校生のホストファミリー募集のご案内が届いております。興味のある方は事務局へお申し出下さい。
- 群馬県立女子大学よりシンポジウムのご案内が届いております。
- 次週16日(月)は祝日のため休会です。  
又、23日(月)は19日(木)プリオパレスにて開催される桐生5RC合同ガバナー歓迎会へ振替のため休会です。次回の通常例会は30日(月)ですので、お間違えのないようお気をつけ下さい。
- 本日例会終了後は、このまま引き続き質疑応答がございます。その後は玄関前にて写真撮影を行ないますので、皆様よろしくお願ひ致します。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(平成19年7月9日)：総員67名・出席53名  
平成19年6月18日例会修正出席率：69.6%

### ニコニコボックス

横山公一ガバナー様・今井幸吉副幹事様・桐生ロータリークラブの皆様大変お世話様になります。クラブの為に1年間頑張りますので、よろしくお願ひ致します。/笠原康利ガバナー補佐様よりニコニコ箱へお祝を戴きました/佐々木裕君…横山ガバナー様・笠原ガバナー補佐様・今井副幹事様・桐生第一高校

インターフェクト顧問西尾先生をお迎えして／Z野一郎君・山口正夫君・岡部信一郎君・蓮直孝君・山崎達也君・森末廣君・村田勝俊君…ガバナーをお迎えして／塚越平人君…日本発明協会より発明功労賞をいただきました／塚越平人君…F M桐生が無事開局いたしました／佐藤富三君…F M桐生開局おめでとう／塚越紀隆君…F M放送が無事開局になりました。77.7MHzですのでぜひ聞いて下さい。／前原正一君…ロータリー情報委員長就任／竹内靖博君…プログラム委員長就任／川村隆君…米山奨学委員長就任、副SAA退任／北川洋君…雑誌委員長退任／前原正一君・金子篤郎君・森末廣君・藤江篤君・本田雄一郎君…出席100%／山崎達也君・木村洋一君…誕生祝／山崎達也君…結婚祝／牛脇章君・養田隆君・塚越紀隆君・金子篤郎君・山口正夫君・佐々木裕君・川島康雄君・森末廣君・大島武司君・本田雄一郎君・澤田匡宏君・木村洋一君…写真をいただきました。

### ロータリー財団委員会

前原正一会員 \$100 ならびに仔豚の貯金箱  
吉野雅比古会員 \$300

### 米山奨学委員会

藤井征夫会員 30,000円

### 直前会長 金子篤郎君

先日開催されました「世界難民の日」写真展におきまして、募金活動を行いました。先日例会時に会員の皆さんからの募金、会場での募金とガールスカウト・ボーイスカウトの子供さんによる街頭募金の総額で\$119,790集まりました事をご報告を申し上げます。又、集まった募金は日本UNHCR協会（国連難民高等弁務官事務所）の方へお届けいたします。

## 卓話



### 「ガバナー講話」

国際ロータリー第2840地区  
ガバナー  
横山 公一様

ガバナーはRIに於ける、地区で唯一の役員です。情報をしっかりと伝達する役目を負っています。しかし、RIとクラブは対等であります。地区はRIの下部組織であります。何故なら、深川純一2680パストガバナーは、1910年全米ロータリークラブ連合会が創立される際、当時全米は存在した16クラブが連合会に委託した事項は三つだけ

- 第一に、奉仕理念の追求・提唱。
- 第二に、奉仕理念の追求・提唱するロータリークラブを全米の各地に作っていて拡大
- 第三に、それらロータリークラブ間の情報の媒介であります。

ロータリーの拡大・会員増強は各クラブがRIに与

えた至上命題でありました。従って R I その役員であるガバナーは、ロータリーの拡大・会員増強をやかましく言うのであります。

クラブからは何故？やかましく言うのか疑問であると思います。この辺の事情はご理解をして頂きたい。しかし、クラブにとってどの程度の会員規模が良いかということは、クラブ自身が決めるべきことであります。即ち、クラブ自治権の問題であります。この点、クラブと R I と利害が対立するのでありますが、クラブの親睦を壊さないように会員増強・ロータリーの拡大を図れば良いのであります。まさにこれは決議23-34第5項目のロータリーに於ける対立と、強調の問題であります。

地区は情報を伝達するところで、事業を行うところではないと考えます。しかし、国際的に地区でなければという事業は行わなければならないと思います。R I の提唱、方向性、社会奉仕、国際奉仕、恵まれない人達に恵む奉仕、それにはお金がかかります。しかしそれだけでは何か不足している。自立・自助が出来る道を考えなければならぬと思います。

しかし日本のロータリアンの中に、戦前から脈々と流れている職業奉仕を大切にし、ロータリー運動は倫理運動であるという考え方があります。

田中毅2680パストガバナーはこう言っております。1911年ポートランド大会で、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱し、ロータリー宣言の結語として採択した、He profits most who serves best 最も奉仕する者、最も多く報いられます。そして1950年のデトロイト大会の決議50-11によって、ロータリーのモットーとして採択された。もっとも、最近は He が女性をベッしする考え方として、They に変更されています。また、今年の規定審議会で (He / She)となりました。

(アーサー・シェルドン) 彼は、どんな手段を講じようとも、富を得たものが成功者としてもてはやされた19世紀の利己的な経営手段を批判すると共に、単に自分だけが儲けようという商売から脱して、他人に対してサービスをすることが事業を成功させる方法であることを力説した。20世紀の実業人を成功に導く方法は、利益を自分の事業に関連する仲間と一緒にアサるということを説き、その理念を端的に表す言葉として、He profits most who serves his fellows best というモットーを発表したのです。現在使われている第二モットーに his fellows という単語が余分についており、「自分の事業に関係する人達に、最も奉仕した人が最も多く報いられる」という意味であります。

He profits most who serves best というロータリーの奉仕哲学は、自然の法則であり、宇宙の摂理に従った法則であります。

絶対的なもの、絶対不变なもの、これがロータリーの職業奉仕の理念であります。

ロータリーの奉仕哲学は、継続的に利益を得るために人間関係の基本原則であると結論づけています。

奉仕哲学は、原因によって結果を証明出来る科学であるという前提から、「奉仕」と「自我」と「利益」

の関係を明快に説明しています。

すなわち奉仕の原理は継続的に利益を得るための人間関係の基本的な法則なのです。一見さんだけを相手にしていたのでは、事業の発展はありません。顧客がリピーターとなって何回も訪れ、また別の顧客を紹介してくれるからその店は発展していくのです。職業奉仕とは、リピーターを得るための科学的かつ道徳的な経営方法なのです。リピーターが再三訪れる店は、当然のことながら、高い商道徳を持っています。職業奉仕の実践は、結果として高い職業倫理に繋がるのです。奉仕の原理を人間関係学から説き、その結論として He profits most who serves best というロータリーの奉仕理念こそ、宇宙の摂理に叶った絶対的なのです。

シェルドンはエンジンバラの大会で、「あなたは何のために仕事をしているか」という質問をしています。95%の人はお金を儲けるために仕事をしていると答えています。皆様方も内心そう思っている方が大部分ではないかと思います。彼が述べた正解は、職業を通じて社会の奉仕をするためです。そのように考えながら、自分の職業を営んでいる人は何人いるのでしょうか。また深川純一2680パストガバナーは、1915年のサンフランシスコ国際大会で採択された、「全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓」別名「ロータリー道德」は最後の「要旨」に於いて、「この倫理訓の目的は、個人の完成それの基礎とし、國家の永続はただ自我に温存するためなりとの立場をとるギリシャ的倫理感ではなくして、この倫理訓の根本前提是愛なのである。即ち、ロータリアンが正しいことをなすのは、単に自我を温存させるためだけではないのであって、他人を滅ぼすよりは寧ろ他人に滅ぼされることを選ぶという立場をとるからなのである。」と謂っています。従って、「ロータリー倫理訓」の根底に流れる思想は、職業奉仕=倫理=愛を考えるものであります。

では愛とはそもそも何ぞやと言うと、それに答えることは出来ないのであります。何故ならそれはロータリーの到着点だからであります。そこから先はないのであります。即ち、愛は人間の心の窮屈にあるからです。

命ある限り、人間が持っているものは愛であり、倫理であります。命の大きな働きが心の働きでもあり、それが倫理であり、愛であります。従って、愛は人間の根源的なものであります。そして愛の発現形態が倫理であり、これが文章化されたものが「ロータリー倫理訓」なのであります。

このような流れの中で、日本のロータリアンは職業奉仕こそロータリーの真髄であり、職業奉仕なくしてロータリーは語れないと申しております。その中に一業種一人制とがあったのであります。そして我々ロータリアンは、素晴らしい感動を忘れてはいるのではないでしょうか。奉仕を行おうとする原点は、感動なくしては語れないでしょう。

そこでアフリカでの貴重な体験をなされた関場2830パストガバナーを8月19日奉仕セミナーに招いております。日本で四番目にパストガバナー2580地区佐

藤千寿先生を地区大会へお招きし、資本と道徳というテーマでお話し頂く予定です。

　　「 ウィルフレッド J. ウィルキンソン 2007-08年度 R I 会長は「ロータリーというのは本当にすごいものです。ロータリーはまさしくマジックそのものです。ロータリーというのは、平凡な人間を非凡にするというマジックをもっている組織です。」といった認識を披露すると共に、

- ①ロータリーというのは、人類が他の人間に対して、心優しさ、また愛の心、を投げかけるチャンスを与えてくれているのです。
- ②私達はクラブ奉仕を通じてロータリー精神を分かちあっています。
- ③私達は職業奉仕を通じて愛の心を分かちあっています。
- ④社会奉仕はロータリーの心です。私達はまず自分の家庭に責任を持ちます。そこから地域に尽力します。
- ⑤そして私達は国際奉仕で愛を分かちあっています。国際奉仕はロータリーの目のようなものです。ニーズのあるところで支援をして、自分一人で出来ないことは他のロータリアンと一緒に支援をします。
- ⑥私達は青少年に奉仕することで、愛を分かちあっています。青少年は私達の未来です。と述べ、「ビル・ボイド会長が強調された、『水保全』、『保健・飢餓救済』、『識字率向上』、『ロータリーファミリー』を引き続き強調していきたいと思います。」と継続性を示しました。そして、「2007-08年度のテーマは ROTARY SHARES（ロータリーは分かちあいの心）です。」と発表されました。

「ロータリーは思いやりの心があるから、ロータリーは分かちあうのです。ロータリアンはニーズを理解しているからこそ、ロータリーを分かちあうのです。ロータリアンが『超我の奉仕』を実践しているからこそ、ロータリーを分かちあうのです。私達は自分の時間、才能、金銭の面でもみんなと分かちあっています。そして私達は、愛を分かちあっています。」と、ウィルフレッド J. ウィルキンソン 2007-08年度 R I 会長はテーマ発表と共に、自分の思いを披瀝されました。まさに、ロータリーの原点に触れる言葉ではないでしょうか。良質な職業人の代表であるロータリアンが、自己の内なる矛盾を克服して他人の為に尽くそうという、人生哲学そのものではないでしょうか。

我々ロータリアンは「ROTARY SHARES」の下に、今年一年結集しようではありませんか。そしてロータリーの基本であるクラブを元気にしようではありませんか。地区はクラブの強化を最優先課題とし、情報・人的資源をクラブに提供していきます。会員一人純増を達成し、会長賞をいただこうではありませんか。

地区内ロータリアン各位のご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。

例会終了後は質疑応答を行ないました。



## 家族会総会

7月11日(木)午前11時30分 ジパングにて



金子和子前会長へ佐々木早苗新会長より花束贈呈



R C 会員9名、家族会会員13名が出席。総会終了後は和やかな会食となりました。